

エコタウンえどがわ推進本部 第3回本部会議 要旨

日時：平成21年7月22日（水）

午後2時 開会

場所：江戸川区役所（西棟4階）

第1委員会室

1 本部長挨拶（区長）

2 環境問題の動向

- ・世界及び日本の動向、本区の取り組みについて事務局より説明

3 活動報告

- (1) 一之江馬場共和会婦人部の取り組み報告
- (2) エコキャップ回収の取り組み報告
- (3) グリーンエコプロジェクトの現状報告

4 意見交換

テーマ：「もったいない運動えどがわ」をどのように拡大するか

- (1) 「もったいない運動」実践者の表彰拡充
 - ・省エネ活動を実践している方々の推薦について、従来の自薦と合わせて他薦も受ける形に拡大し、「もったいない運動えどがわ区民大会」で表彰する。
- (2) 「もったいない運動」の地域への拡大
 - ・省エネ活動に取り組んでいる事業者・飲食店等を対象に、啓発グッズ等を配付する。
- (3) 「エコタウンえどがわ推進本部」が発信する新規行事の取り組み
 - ・お月見キャンドルナイト2009（ライトダウンイベント）

○本部員の発言（要約）

《もったいない運動実践者の表彰拡大について》

- ・他薦は必要だと思う。
- ・駅の近くでいつも草むしりをしていてくれる方がいる。こういう活動をしている人も対象にしてはどうか。
- ・私たちの地域でも街の中を清掃してくれている方がいるので推薦したい。
- ・回覧版で呼びかけをしてはどうか。
- ・一昨年もったいない運動の表彰を受けたが、受賞者がエコ活動を継続するだけでなく、地域に広げていくことにつながれたらと思っている。今後はエコ活動の項目を増やして、地域で協力して進めていきたい。

《もったいない運動の地域への拡大について》

- ・もったいない運動シールを多くの家の玄関に張ることで、何かしなければという気持ちになる。
- ・もったいない運動シールをエコ活動した子どもに配るようにはどうか。子どもがエコ活動をすることで、親も一生懸命になる。
- ・すすくすくスクールの受付にもったいない運動のミニ幟を立てているが、子どもたちが「これは何？」と興味を示してくれるので、日本一のエコタウンを目指している話をしている。

《お月見キャンドルナイトについて》

- ・昔は家を暗くしてお月見をした記憶があるので良いイベントでは。
- ・省エネとあわせて日本の大事な伝統文化の啓発にもなるので良い。
- ・学校に生徒・親・先生が集まり、月を見ることができたら良いと思う。
- ・商店街も協力してやっていきたい。
- ・幼稚園・保育園などでのキャンドル作りは、火の大切さ、危険さも教えることもできるのでぜひやってみたい。
- ・数年前から廃油を使った石鹼作りをやっている。キャンドル作りも夢があって良い。

《エコキャップ回収について》

- ・エコキャップの活動はいろいろな団体が協力できる部分もあると思う。
- ・学校でエコキャップ回収していることを口コミで広げている。
- ・エコキャップ回収についての話を地域の熟年者に話したところ、キャップを集めて子どもや孫に学校に持たせてくれるようになった。

《グリーンエコプロジェクトについて》

- ・グリーンエコプロジェクトは地域の会議でもぜひお話してほしい。

《もったいない運動を子ども達に広めるために》

- ・給食で残菜を出さないようにするため、子どもたちに啓発を行っている。
- ・子どもたちに浸透させるには、大人が理解し動くことが重要。そのための体制作りも必要。
- ・今の子どもたちの親は大量消費の時代に育っているので、そういう中で子どもたちにエコを教えるのもったいないを進めるのは難しい。
- ・子ども会では資源回収などを行っているが、子どもより子ども会の大人が努力しているのが現状。
- ・今の子どもたちは押しつけると離れていく。もったいないを教育で取り上げるのは無理もあると思うので、すすくすくスクールや共育プラザなどで、簡単なことからもったいないとはどういうことかを教えられるようになるとよい。
- ・今は物がありすぎることもあり、もったいないが薄れているので子どもたちへの教育が大事。また、教える大人が範を示し、物を大事にしなければいけない。
- ・幼稚園にハンカチが落ちていても子どもたちは慌てない。次の日には新しいものを持ってきている。もったいないは小さいうちから習慣化し、育てることが必要。

- ・すくすくスクールでは、使用済みの紙は回収袋に集めてリサイクルしている。最近は無言でも子どもたちは分別をしており、教えているうちに身についていくのではと思っている。
- ・保護者会の中でもったいない運動をお知らせしたい。これを教員の手を介して行うことが大事。

《地域でのもったいない運動について》

- ・集合住宅で新聞回収がようやく始まった。エコにつながるので軌道に乗せたい。
- ・資源回収の分別がされていないことが多いので、色々なイベントの中で分別の教室を開く予定。

《日々の生活の中でのもったいない運動について》

- ・もったいない運動の内容は昔からやっていることがほとんど。我々が教えてもらい身についていることを気長に続けていくことが大事。
- ・昔は親等から教わり、みんな自然に実践していた。今は忘れている人が多いので普通の人々が普通にやれるように戻すことが必要で広報等でもPRすると良い。
- ・もったいないは最終的に自分で考えることで、人に押しつけられるものでない。
- ・一人一人が実践することで積み重なって大きな成果になる。